



澆刺颯爽 栄中

～熱意・誠意・鍛錬～

目指す生徒像
礼儀正しく、
本気でやり遂げる生徒
～あはは学校～

令和2年1月8日 第9号 生徒数 1年171名 2年135名 3年102名 計408名

「目の前のことと着実に」

校長 小堺 正之

年明けから1週間が過ぎ、例年とは異なるところもありますが、本校にも生徒たちの元気な姿、声が帰ってきました。この冬休みが生徒たちにとって充実した時間であり、今年にかける思いをもって新年の誓いを立ててくれたものと期待しております。と同時に今のこの状況が少しでも良い方へ向かうことを願うばかりです。本校生徒、御家族及び地域の皆様方が健やかに新年を迎えられたことに感謝したいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年12月8日には、このように先の見えないことが多い状況の中でも、その時にできることを着実に頑張ったことで、3か月の臨時休業による授業の遅れを取り戻し、中止となっていた第47回体育祭の代替行事として「冬のスポーツ大会」を実施することができました。平日の午後の2時間、無観客で「クラス対抗全員リレー」と「みんなでジャンプ（大縄跳び）」の2種目だけでしたが練習期間も含め、よく走り、よく回し、よく跳んでいました。3年生の選手宣誓も立派な内容でした。どの学年の競技も一人一人が全力で最後まであきらめずによく頑張りました。よく応援し、相手のこともよく称えました。「みんなでジャンプ」で自分たちのクラスがつかえて終わってしまい、座って他のクラスが跳んでいるのを見ていましたが、そのクラスがつかえて終わった時に自然と温かい拍手をしてくれていました。感染についての心配をしながらも「やってよかった。」と思える思い出に残る、そして、この先につながるものでした。

また、2学期の終業式では「3学期は『行く』1月、『逃げる』2月、『去る』3月と言われるようにあっという間に過ぎてしまう短い学期であると同時に『次の学年の0学期』とも言われる大切な学期でもあります。冬休みに入る明日を前に、この冬休み中の計画をしっかりと立てて冬休みを迎えましょう。」という話をしました。「丑年」には、「先を急がず、目の前をを着実に進めることが将来の成功につながる。」とされています。

今年の栄中も、常に目標や目的を見失うことなく、今これから行う活動では「何を指し、何のためにがんばるのか」を考えた質の高い活動となるよう頑張っていきたいと思えます。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今年も本校生徒への御支援と激励をお願いいたします。

下記の予定や裏面の予定は1月7日現在の予定です。変更する場合がありますことを御理解ください。

なお、当分の間、地域の方の御参加を御遠慮いただきますことについても御理解くださいますようお願いいたします。必要に応じて、メール配信や学校のHPでご確認ください。



1月の今後の予定

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8 始業式 3時間授業	9
10	11 成人の日	12 4時間授業 学活・集会・ 発育測定 避難訓練	13 課題テスト 給食開始	14 専門委員会	15	16
17	18 下校時刻 17:00 (～2/15)	19	20	21 中央委員会 「ふれあい」 デー 安全点検日	22 臨時学校評議 員会・関係者 評価委員会 スクールカウ ンセラー来校	23 読書ウィーク (～1/30)
24 31	25 生徒朝会 栄中検定⑨	26	27	28 漢字検定 15:50～	29 	30 日本一の読書の まち三郷「第14 回三郷市読書フ ェスティバル」

★第11回いっしょに読もう！新聞コンクール
全国奨励賞 3年1組 中田 妃莉

埼玉県努力賞 3年1組 石井 桜美
3年1組 川崎 妃菜
3年1組 木須 有桜
3年1組 篠田 恋那
3年2組 武本 芽依
3年3組 町田 千穂
3年3組 佐々木健成
2年1組 田村 葵
2年1組 牧田実咲希
2年2組 山下結莉乃
2年2組 梅下美咲
2年3組 濱里真理子
2年3組 広瀬 瑠依
1年3組 加藤 心渚



★令和2年度科学の甲子園ジュニア
エキシビジョン大会出場

2年1組 鈴木 貴也
2年3組 北村 宙照
2年4組 井上 温叶

★第7回全国家読うびんコンクール
ギリシャ賞 3年1組 中田 妃莉

★「日本一の読書のまち三郷」
調べる学習コンクール
優秀賞 2年3組 松浦 葵

★「税に関する標語」
三郷市長賞 1年5組 岡田 空
三郷市教育長賞 3年2組 角田 龍河

★「税に関する作文」
越谷税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞
3年1組 金刺 咲希

本校の読書活動 1年4組 小山先生から

～「明日なき暴走」 歌野 晶午 ～

SNSや動画サイトなど、現代ならではの設定がフルに生かされたミステリーです。視聴率欲しさに、地元の後輩たちに過激なやらせ映像を撮影させていたところ、本物の通り魔に襲われてしまい…という話です。登場人物は全員嫌な印象で読みながらイライラしました。それでも最後のどんでん返しは期待を裏切らない、歌野晶午の最新刊です。



時は来た 2020.12.8 (火) 第47回 体育祭
 規模や種日は縮小しけれど
 それがどうした！
 心を燃やせ！栄中健児！

冬のスポーツ大会

WINTER SPORTS TOURNAMENT

冬のスポーツ大会 閉会式 生徒代表の言葉

1年4組 西村 友莉乃

新型コロナウイルスの影響でたくさんの行事やイベントが中止になり、日々の学校生活でも限られていることがたくさんあります。クラスの絆や団結力を高める場がない中で、冬のスポーツ大会は私たちにとって、クラスの仲を深められる大事な行事となりました。体育祭として様々な種目を行うことができませんでしたが、全員リレーとみんなでジャンプの2種目を冬のスポーツ大会として行うことができました。最後まであきらめず走り切る姿や真剣な表情で3分間、声をかけ合い跳び切る姿は冬のスポーツ大会でしか見られないことだったと思います。

クラスの思いを1つにして競技に取り組む団結力を高められました。クラスだけではなく栄中全体も、真剣な表情や熱く心を燃やす姿、そして輝く笑顔があふれて素晴らしい雰囲気になりました。

新型コロナウイルスの影響を受ける中でも、クラスや学年、学校全体の団結力をこれからも高めていきましょう。



12月8日に開催した「冬のスポーツ大会」の様子です。
 今後も集団で生活している学校だからこそ、味わわせることができる
 感動体験活動を、生徒と共有していきたいと思います。



12/28の読売新聞に掲載されました。「第11回いっしょに読もう！新聞コンクール」で全国奨励賞を受賞した中田さんの喜びの声が記事化されたものです。

NIE新聞コンクール

三郷市立栄中3年
 中田 妃莉 さん
 母と論評し合う
 普段は家族で食事をしながらニュースを見て論評し合うという。コロナ禍で臨時休校中は「ゲームもやっただけ、勉強や読書、ニュースチェックはしっかりしていました」と誇らし。6月26日付本紙朝刊1面の記事「コロナ禍専録」



「9県なし」を読み、母と「コロナ対応の大切な会議のはずなのに」と話し合った。
 明治以降の歴史や政治に加え、文学、美術史や哲学にも興味がある。今年の修学旅行は中止になったが、「高校の修学旅行は絶対行きたい」と、新型コロナウイルス感染拡大の早期収束を願う。将来は学芸員になりたいという。